



いわて医療通信 脳卒中に影響を与える疾患①

# 高血圧の原因・危険因子について

今回は高血圧の原因・危険因子について述べることに致します。

高血圧は大きく分けると2つに分類できます。本態性高血圧と二次性高血圧です。高血圧(症)の90%程度が明らかな原因疾患がない高血圧で、これを本態性高血圧(症)と呼びます。本態性高血圧では、家系内にも高血圧の患者が認められることも多く、遺伝的

な要因が大きいと考えられています。また、代表的な生活習慣病の一つと考えられており、食塩の過剰摂取、肥満、運動不足、過剰の飲酒、喫煙などの環境要因も関与しています。

すなわち、努力によってある程度改善が可能であるものです。以前にも書きましたが、高血圧は動脈硬化を進行させ、脳出血、脳梗塞、狭心症・心筋梗塞など

他の生活習慣病の原因となり、それに伴ういろいろな合併症を引き起こします。これらは明らかな自覚症状がないまま進行するため、十分な注意が必要となります。

一方、腎臓や副腎の病気など明らかな原因疾患が存在するものがあり、これを二次性高血圧(症)と呼び全体の10%を占めます。二次性高血圧は頻度が少ない

ですが、原因疾患を特定し原因に対する治療を行えば、完治させることのできる高血圧とも言えます。

高血圧においては、まず、二次性高血圧症であるかどうかの診断をしっかりと行う必要があります。

岩手医科大学は2017年に創立120周年を迎えます

誠のあゆみ、未来へつなぐ

岩手医科大学